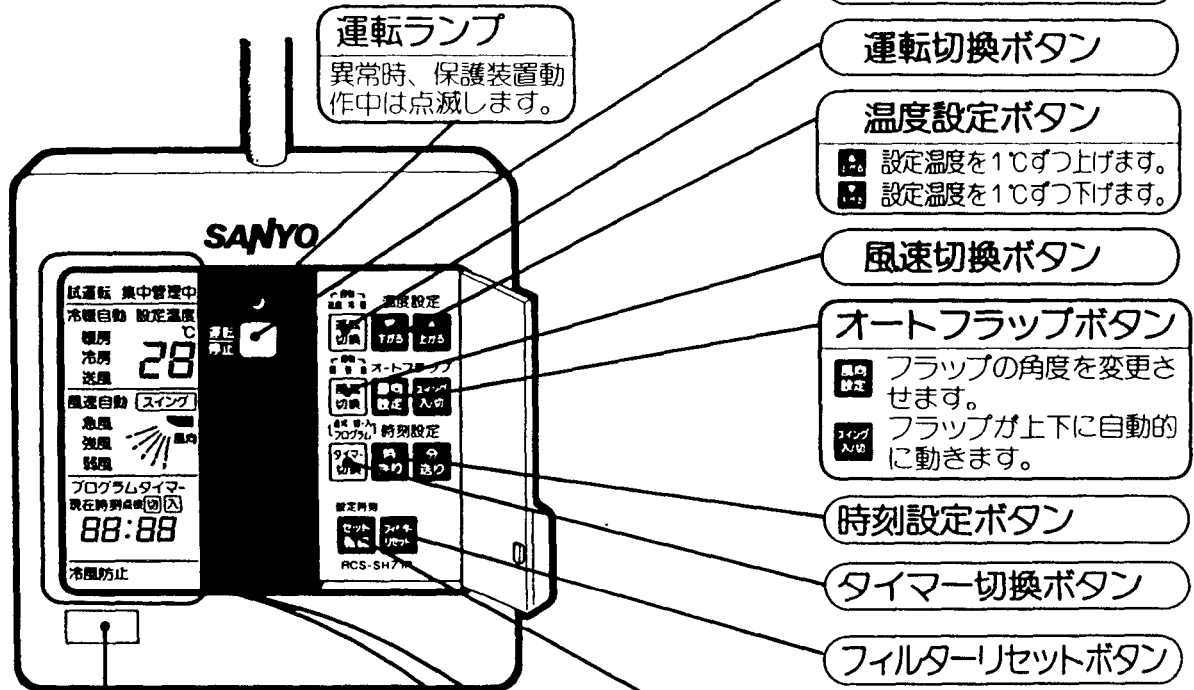


各部のなまえとはたらき

リモコン(別売品)

(この表示は説明のためのもので、
実際とは異なります。)

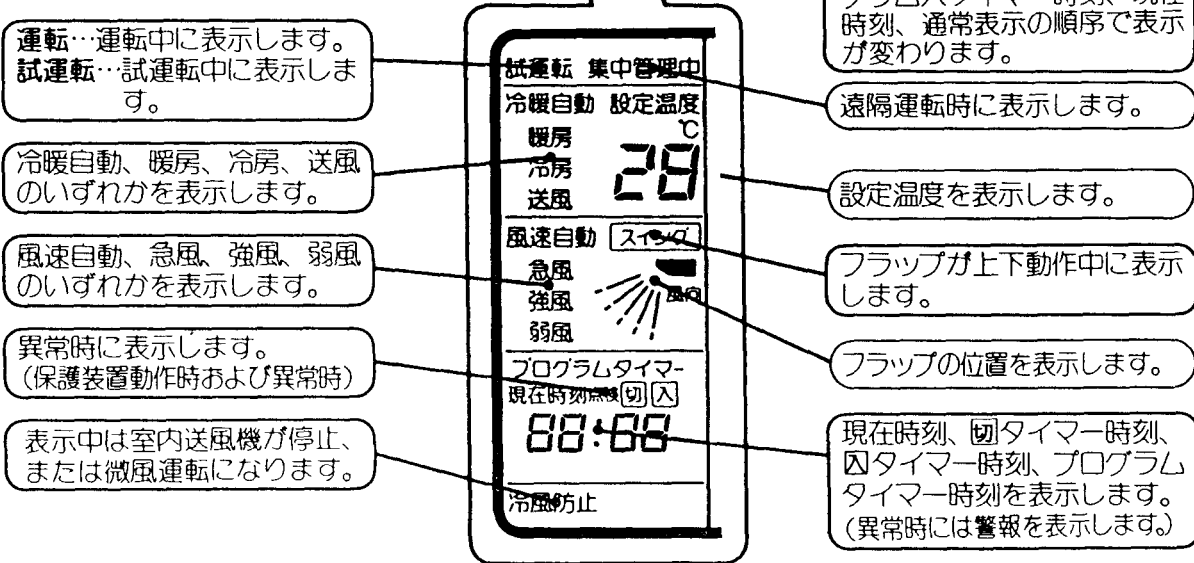
- このリモコン1台で、エアコン本体を最大16台まで運転することができます。
- 一度運転内容を設定すると、その後は運転/停止キーを押すだけでご使用になれます。
- システム運転でリモコンを複数使用する場合、子リモコンでのタイマー操作はできません。



温度センサー(内部)

通常は本体の温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。

表示部



2-2 センサー温度表示機能（運転・停止に関係なく表示します。）

◎ リモコン、室内ユニット、室外ユニットに接続されている各センサーの温度をリモコン上に表示します。

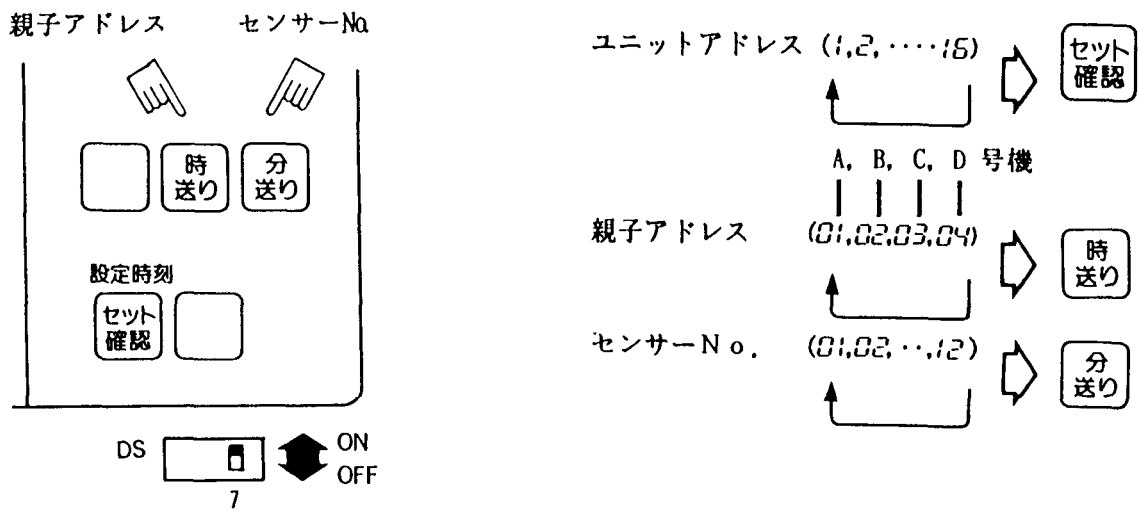
〈確認方法の手順〉

(1) リモコンの基板にある“センサー温度”スイッチ(DS-7番)を OFF ⇔ ON に切換えます。

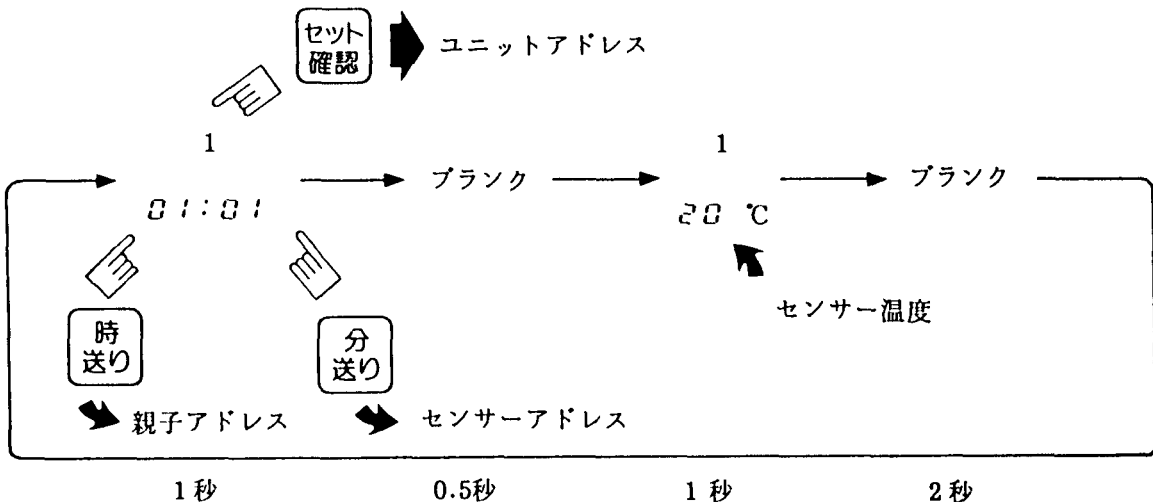
この時点で、ユニットアドレス 1号機，親子アドレス A号機，センサーアドレス

01 (室温 ⇔ 選択されている室温センサー) の内容がセットされます。

(2) グループ制御、フレキシブルコンビネーション制御時、指定したセンサー温度を確認したい時は、次の操作にて行ってください。



● 表示タイミング



① グループ制御時

リモコンの操作面上の セット確認 スイッチがユニットアドレススイッチとして機能します。

このスイッチを押すごとに 1, 2, 3, …, 15 とユニットアドレスを変更します。

この状態で確認したいセンサーアドレスを **分送り** スイッチにて指定します。

このスイッチを押すごとに **1, 2, 3, …… 12** とセンサーアドレスを変更します。

(センサーアドレスとセンサーの種類の関連については下記センサー温度対照表を参照してください。)

② フレキシブルコンビネーション制御時

リモコン操作面上の **時送り** スイッチが親子アドレススイッチとして機能します。

このスイッチを押すごとに **01, 02, 03, 04** と親子アドレスを変更します。

この状態で、確認したいセンサーアドレスをグループ制御時同様、 **分送り** スイッチにて指定します。

③ システム制御時 (グループ制御+フレキシブルコンビネーション制御)

セット確認 スイッチでユニットアドレス, **時送り** スイッチで親子アドレス, **分送り** スイッチでセンサーアドレスを組み合わせて、確認したいアドレスに設定してください。

<注意> ・接続されていないユニットのセンサー温度表示は、“---:---℃”となります。

センサー温度対照表

センサー取付場所	センサーアドレス	センサーの種類
室内温度センサー	01	室温：本体/リモコン (選択しているセンサー) 12
	02	室内コイル温度 (E1) 33
	03	室内コイル温度 (E2) -27 50
	04	室内コイル温度 (E3) C
室外温度センサー	05	吐出温度
	06	外気温度 16℃
	07	室外熱交分流管温度 (C1) -
	08	室外コイル中間温度 (C2) -16
	09	未定
	10	未定
	11	未定
	12	未定

2-3 サービスチェック表示機能（運転・停止に関係なく表示します。）

- 過去、運転中に発生した警報内容を発生順に最大16個まで記憶し、リモコン上に表示します。（警報内容の“E0”は含みません。）





＜確認方法の手順＞

- (1) リモコンの基板上にある“サービスチェック”スイッチ(DS-8番)をOFF ⇒ ONに切換えます。

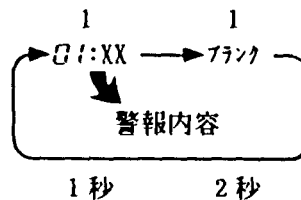
（この時点で、最新に発生したユニットアドレス、親子アドレス、警報内容がセットされ、表示されます。）




- (2) 表示方法

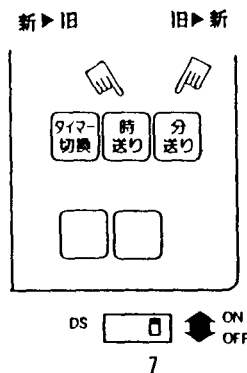
- ・ “サービスチェック”スイッチONにて、通常表示画面をサービスチェック画面に切換えます。

通常表示	画面切替 ()	サービスチェックON時
「設定温度XX℃」		ユニットアドレス
現在時刻「時」		親子アドレス
現在時刻「分」		警報内容


・表示タイミング



- (3) リモコン操作面上の  スイッチで過去発生した警報内容の発生した新しい情報から、古い情報の順番で呼び出し確認できます。一度  スイッチで送られた情報を逆に呼び出した場合には、 スイッチを使用してください。



- (4) サービスチェック使用時の警報内容リセット方法

確認した警報内容をリセットしたい場合、メモリーリセットスイッチ（“サービスチェック”スイッチ使用時には、 “スイッチがメモリーリセットスイッチとして機能します。）を押してください。

リモコン表示が“—：—”となればリセットされています。

- ＜注意＞
- ・ 警報内容が発生していない時のリモコン表示は、“—：—”となります。
 - ・ サービスチェック中のリモコン表示は、“モニター中”と警報内容を同時に点滅します。
 - ・ 同一の警報内容が連続して発生した場合は、新しい警報内容は無効となります。

1. ユニットの症状と診断箇所

1-1 警報表示の内容

異常検出内容		リモコン表示	
シリアル通信異常	リモコンが室内からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E 1
		シリアル信号の送信不良	E 2
	室内がリモコンおよび新集中制御からの信号の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E 3
	室内が室外からの通信の異常を検出	シリアル信号の受信不良	E 4
		シリアル信号の送信不良	E 5
	室外が室内からの通信の異常を検出	シリアル信号の受信不良 (台数確認不良も含む)	E 6
		シリアル信号の送信不良	E 7
	親子アドレス設定不良 (フレキシブルコンビネーション制御時の設定ミス)	室内基板の同一親子アドレス設定ミス	E 8
親リモコンアドレス設定不良 (リモコン複数台設定時)	親リモコンが同一アドレスを検出	E 9	
保護装置動作	室内保護	●室内送風機保護サーモ ●フロートスイッチ	P 1
		●天井パネル接続不良	P 9
	室外保護	●室外送風機保護サーモ ●圧縮機過電流継電器 ●圧縮機保護サーモ	P 2
		●吐出温度異常	P 3
		●高圧スイッチ	P 4
	●逆相, 欠相	P 5	
サーミスタ異常	●室内コイル温度 (E 1)	F 1	
	●室内コイル温度 (E 2)	F 2	
	●室内コイル温度 (E 3)	F 3	